



2009年7月2日

倒産集計

信用交換所京都本社

09年6月繊維倒産

件数・負債額ともに増加、先行き警戒感強まる

全 国 発生件数 = 54件 負債額 = 237億1700万円

2009年(平成21年)6月の全国繊維業者の倒産(負債額1000万円以上=整理・内整理含む)は54件で、前月比で20件(58.8%)、前年同月比で3件(5.9%)増加した。

負債額は237億1700万円で、前月比で64億3700万円(37.3%)、前年同月比では43億4400万円(22.4%)増加した。これは、シオタニ(株)(大阪府中央区、織物製造)が72億4100万円の多額の負債を抱え破たんしたことが主因で、そのほかにも負債額10億円を超える倒産が、(株)コムト(東京都渋谷区、婦人ニットウエア製造・小売、同20億4600万円)、(株)水瀬製革所(兵庫県姫路市、天然皮革製造、同18億円)、(株)アバンス(名古屋市、かばん・袋物ほか卸・小売、同17億円)、(株)コズミックランド(東京都渋谷区、ニットウエア製造、同15億円)と4件発生した。

前月は全業種ベースで倒産が減少に転じ、繊維業界でも決済の端境期に入ったこともあって件数は大幅に減少した。しかし、大手チェーンが発表する6月度月次売上速報を見ても多数の企業が苦戦を強いられ、店頭の販売不振は払拭できおらず、当月の業種別でも中小小売業の破たんが全体の30%を占めるなど環境は一層悪化しており、件数は増加した。

政府のエコ関連減税など景気浮揚策が本格化しているが、繊維業界への恩恵は軽微であり、当月末からスタートしているボーナス商戦を含むバーゲンもいまひとつ活気に乏しく、低価格化志向がさらに進み、企業の収益体質の悪化が懸念される。

また、金融機関の貸し出し姿勢は依然厳しく、すでにセーフティネットなどを利用した企業にとっては、新たな資金調達が困難となることが予想され、一層赤字・借入依存度の高い企業が経営を断念せざるを得ないケースが今後増加するものと見られる。

業種別では「小売商」14件、「紳士・婦人・子供・被服製造卸」11件、「織物卸」「ニット製品・洋品雑貨製造卸」「その他」各5件、「呉服・和装製品製造卸」「寝具・インテリア製品製造卸」各4件、「織物製造」3件、「紡績・撚糸製造」2件、「染色整理・特殊加工」1件。

原因別では「業績ギリ貧」が42件で全体の77.8%を占め、以下は「資金力薄弱」4件、「貸倒れ損失」3件、「信用度薄弱」「放漫経営」各2件、「業況急変」1件だった。

京 都 発生件数 = 6件(前年同月1件) 負債額 = 13億4600万円

(前年同月3億5000万円)

滋 賀 発生件数 = 2件(前年同月1件) 負債額 = 2億2400万円

(前年同月8000万円)